

**(3) あなたが現在の学生にアドバイスをするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。**

**総合科学部**

- ・大学生活は人生の中でもとても貴重な時間だと思うので、勉学も遊びもアルバイトもやりたいこと全てやってください!!若いうちにしか出来ないことはたくさんあります。
- ・学業以外の活動、人間関係を!
- ・学問・サークル・アルバイト・遊び、何事も全力で取り組んでほしいです。
- ・学生時代に同年代だけでなく、年上の社会人との交流をしておいた方が良い。社会人になるためのイメージがしやすく、就職活動につながる。
- ・環境を言い訳にしないでください。必要な環境は自分の手でつかみ取ってください。やりきれないで後悔するのは自分です。やりたいことが定まらないのなら、気になるものに片っ端から触れて試して下さい。それでもダメならとりあえず一つのことを究めて下さい。そこから何かが見えるはずです。行動あるのみです。
- ・とにかく「外」へ出ましょう、人と触れ合しましょう。人と接することで、人として成熟できる。
- ・PC関連には強くなっていった方がいいと思います。
- ・好きなことがあるなら、それが将来役に立つか立たないかは別として、目一杯勉強するべき。それができるのは大学時代だけ。でも、語学、パソコンはやっておいて損はないと思います。
- ・語学だけは、身につけるつもりで真剣に学ぶと良いと思います。
- ・海外に積極的に出向いて欲しい。一度就職すると、勉強する時間がなかなか取れなくなるので、たくさん在学中に勉強して下さい。
- ・よく体験し、よく考える生活をして下さい。大学までの積み重ねが社会人として生きてきます。

**文学部**

- ・特に何をすすめるということもないのですが、何か「頑張った」と自信になる経験をするのと、広く世界を知ること(例えば就活でいろんな業界を見るとかでも)はしておくことをアドバイスとして伝えたいです。
- ・文章を書く力、プレゼン能力は社会ですぐに要求されるため、早いうちに慣れておくとう利です。(私が現在苦戦しているため)長期の旅行や留学、バイト、サークル興味のあるものは全てした方がよいと思います。
- ・ロジカルシンキング、クリティカルシンキングを(専門分野の研究の中等で)意識しなくてもできるようにトレーニングしておくとう利と思います。この視点の有無でプレゼン能力に大きく差が出ると思います。
- ・たくさんの人と関わり、様々な考え方・価値観に触れるとう利と思います。
- ・実務的な能力(文章作成・パソコン・プレゼン含む)は社会に出てからでも習得することができるので、大学生にしかできないことに力を入れて取り組んでほしい。
- ・大学1年生や2年生の頃に必ず海外経験をしておくべき。必修にしても良いぐらいだと思う。
- ・一ヶ月間のドイツへのサマースクールで物事の見方が変わったので、1ヶ月以上の海外留学をお勧めしたいです。語学能力は現在の仕事にも役立っており、海外赴任の友人もいるため、大学時代に戻れるなら1番語学の勉強をしたいです。
- ・色々な自分の一面を知ったり、つくってほしい。
- ・今に思うことは、勉学等に参加するからには徹底的に真剣に取り組むこと、他者の嫌がることは如何なる理由があろうと慎むこと、これらを自他に勧めたいということ

## 卒業生から後輩に伝えたいこと

- ・知識より、「自分で考える力」を養った方がいいと思います。たとえ専攻の分野でないところに就職しても、その力は必ず役に立つからです。大学は知識を得るためではなく、さらにその先のものを学ぶための場所だと思います。自分で考える力は、生きる上であらゆることに役立ちます。
- ・学部はどの分野であっても、英語力は絶対的に必須。  
また文章力…とても必要。  
社会に出て活躍するためにはこの2点は必須。
- ・自分から動かないと待っていても様々な体験は得られないと思います。自分も含め、待ちの姿勢の人も結構多かったですが、アグレッシブに学外に出て、社会や世界と関わり、実体験を積み重ねることも大切だと思います。
- ・大学は就職予備校ではないので、文字通り「大いに学」んでほしいです。アカデミックなこと、研究に一度は没頭すべきです。仕事で必ず生きます。手を抜いて、大学で勉強しなかったことを自慢するような大人にはならないでほしいと思います。
- ・文学部の学生さんへ  
大学での勉強が就職や職業に直接役立たなくても、焦ったりする必要はありません。大学生もアルバイト等で忙しく自由な時間も限られていると思いますが、専攻の学問にじっくり取り組んだらいいのではないかな、と思います。

### 教育学部

- ・たくさん遊んでいろんな経験をしておくべきだと思います。  
いろんな経験をしたことが今にすごくつながっていると思います。
- ・とにかく、読書の習慣を身につけてほしい  
せめて年100冊読書するように！
- ・社会に出ると、色々な方々と付き合っていかなければならないので、大学でも様々な活動に積極的に参加して、視野を広げていけたらよいと思います。
- ・あと、仕事以外に興味がある人は、仕事上でも何だか生き生きしているので、自分の好きなことを見つけると良いと思います。
- ・自由な時間が沢山ある今しかできない事をしっかり考えてすべきだと思う。学内・外問わず。
- ・自由時間が多いので挑戦できることには積極的に取り組んでほしい。  
アルバイトやサークル活動も大事だが、実践的な実習・演習にもしっかり取り組み、わからない所は積極的に指導者に質問した方がよい。  
パソコンの基本的な操作 (Excel、Powerpoint) は習得すべき。社会に出て役立つ。
- ・働き出すと、何かをしたいと思っても実行する時間が限られている。大学生活は時間に余裕があるので、無駄にせず、いろんな経験をしてほしい。
- ・大学での友人は一生ものになるので、アルバイトやサークル等で交友関係をどんどん広げ自分の幅を広げるべき。
- ・友人を大切に。お金をかせぐことを学んで。自分で考えて得たことを生活に活かし、自分で考えて間違ったことを反省して二度としないようにして成長し続けよう。
- ・様々なことに挑戦したほうがよい。
- ・アカデミックな学習や、政経の知識は社会に出ても必要だと思います。
- ・多く経験した分だけ人間性に幅がでるから、様々な分野を何事も一生懸命に経験されるとよいと思います。
- ・自分の視野を広げる活動に参加する。  
熱中できることにのめり込む。
- ・いろいろな経験をして、積極的に学んでほしい。  
人を大切に。  
旅行をしていろいろな所に行って見て体験してほしい。
- ・何か一つにうちこむこと。
- ・自分が好きなこと、興味のあることにチャレンジして、可能性を探る、芽を出す、育むような

## 卒業生から後輩に伝えたいこと

期間にできるとよいと思います。伸ばす時期。

- 働いてしまうと、自由な時間がなくなります。今の内に学んで自分の可能性や限界を知っておくといいと思います。
- 社会で必要な能力を得るという意識を持ってください。
- いろいろな経験をしていたら、思わぬところで役に立ったりします。アルバイト先での電話対応やサークルでのリーダーの体験が社会人になって役に立っています。また同じ立場（職種や考え方が近い）友人が多くでき、ぐちを言い合えるのも貴重な財産です。
- 大学にも「社会に出てから役立つこと」を求める時代ですが、あくまで「学問」を追究する場としての役割を保ち続けていただきたいです。
- 勉強するのは自分です。大学は自ら進んで学んでこそ成長します。広大には素晴らしい先生方が多くおられます。積極的に話を聞き、自分で出会いの種をまき、成長して下さい。
- たくさんの経験がをしてください。何より友達が大事!!!
- 幅広くいろんな経験をすることが大事だと思う。自分の場合は部活のみだった。(バイト、ボランティア、インターン、留学などいろいろ今しかできないことをする)
- 色々な人と出会って、チャレンジして、自分の枠をめいっぱい広げられたら勝ちだと思います
- 卒業し、専門職につくと、意識して外に出ていかなければ、その世界にどっぷりつかってしまいそうになります。広い視野を持ち続けるためにも、いろんな人がいる大学時代にたくさんのつながりを作ってほしいと思います。
- 文章作成は大事  
留学してさほど力をつけず帰国するなら日本で勉強すべき、経験のためなら良い。  
PCは実地で修得可。修得のしかたは知っておくべき(右クリックや(ネット)検索のしかた)エクセルの基本(式をいくつか使える程度)は

必要

- PCの知識、語学は必要だと思います。特にPCの知識は、若手として期待される部分であると共に、仕事の効率性アップに欠かせません。大学への課題提出時に意識して学ぶと良いと思います。それから、学ぶ姿勢を身につける(社会人になっても学会などに参加する)ことが大切だと思います。
- 西条が非常に居心地良いからこそ、外の団体(学生団体、企業、アカデミックな組織、財団、etc)と交流する機会を作った方がよかったように思う
- 時間のある大学生のときに、いろいろな経験を積んでおくことは無駄ではないし、そうしておくべきだと思います。
- 就職のためだけの学習ではなく、自分の興味あること・学生生活でしかできない思い切ったことを友人たちと一緒にやって充実した時間にしてほしい。優等生になる必要はない。色々なものを武装するのではなく、自分自身の土台を築いてほしい。
- 大学時代の専門の資料等は全てとっておくと教員生活に活用できる
- 海外留学、旅行などは、就職後はまとまった時間がとれないので、学生の間経験できるといいですね
- 学生生活のなかで、授業ばかりでなく、人とのつながりから色々得るものがあるということ、自分の専門分野(強み)を一つで良いのでみつけること。(そのために大学に行っているようなもの。)
- 他学部の学生と交流する機会が少なかった(サークル未加入、ボランティアは同じ学部中心、アルバイトは学外)ので、サークルに入っておけばよかったと思う。
- 研究、交遊、アルバイトなどをバランスよく。
- とにかく時間をムダにせず思いきり全力で学ん

## 卒業生から後輩に伝えたいこと

でほしい。

- ・今という時間を大切に何事にも取り組んでみてほしい。今の経験が将来に必ず生きてくると思う。
- ・いろいろな経験が、意外なところで役に立つことがあるので、遊びも含め、積極的に！提出期限を守ることは学生時代からよく意識しておいた方がよい。
- ・PC知識（エクセル等）がほとんど無く、社会人になって苦労しました。
- ・学生時代は全く考えませんが、大学生活はあっという間だと、卒業してから感じます。あれもしたかった、これもしたかった…と後悔しないよう、1日1日大切にすごしてもらえたらと思います。
- ・実用の知識は嫌でも身につけさせられます。社会で。それよりも、多くの本を、文学を、教養をを身につけ、内面を豊かにして頂けたらと。もっと寝食を惜しんででも読んでおくべきだったと、後悔しております。本だけでなく美術館や博物館に足を運ぶことも加えてすすめます。
- ・学生時代にしかできないことを全力投球して下さい

### 法学部

- ・面倒くさがらず、体力があるうちになんでもしておくべき。
- ・4年という短い期間をいかに過ごすかは本人次第。その期間がその後の人生に影響するかは今だからわかります。楽しくかつ身になる大学時代を過ごして欲しいです。
- ・安くない授業料を支払う訳ですから、それに見合う成果を得て卒業してもらいたいと思います。知識、経験、そして友人は全て財産ですので、様々なことに臆することなく挑戦するのが吉です。
- ・OAスキルの習得をすすめます。  
エクセル・パワポ

- ・文武両道が一番であるが、どちらか一方でもよいので熱中できることを見つけることができれば、充実した学生生活を送ることができると思います。
- ・学生のうちにできることは何でもやって欲しい。（専門的な勉強、アルバイト、サークル、人との交流…）  
様々な分野で様々な経験をすることで、見地が広がる。
- ・社会人として働きながら、法学部夜間主コースを受講しました。  
当時は地場企業系の社長や上場企業の元役員など多様な方々が学生として大学で学んでいました。そういった方々と、若い学生が交流をより深めることで、これから社会へ出る学生にとっては良いアプローチになると思います
- ・「語学の習得」や「海外留学」は社会人になってキャリアの幅を広くする上で、特に習得、経験すべき事と感じます。
- ・語学なんていう基礎的なことは学生のうちに身につけられるだけ身につけておくべき。
- ・放送大学及び夏集中講義、冬季集中講義は最大限に利用しました。特に放送大学は広大生は無料ですし、単位も取りやすいのでお得です。
- ・友人や学外の方との交流を積極的に行ってほしい

### 経済学部

- ・社会で役に立つ実務的な能力や所作、税に関する知識を社会人になる前に身に付けることが大切です。  
知への好奇心を忘れずに。
- ・「30~40代になった時にどういう生き方をしているのか、何を生きがいとしているのか」を考え、目先（新卒で入る会社）の目標に捉われない学び方をしてほしい。
- ・長期間の自由がとれるのは大学時代まで。有意義に過ごしてほしい。
- ・幅広い知識と経験は雑談の為になりとても都合

## 卒業生から後輩に伝えたいこと

がよいです

- ・大学生にしかできない経験を沢山積んで下さい。

### 理学部

- ・英語だけで働くことは難しいが、できて当たり前レベルなら仕事の幅はとても広がる。資格もとっておく。
- ・何だかんだ実務的な能力は実務をこなすうちに身につく。ただしその基盤くらいは大学のうちに身につけた方がよい。ある程度基盤さえできていれば、あとは何か将来働く時に自分らしいやり方を持てる様に何かを深く追究してみしてほしい。
- ・時間とお金と労を惜しまない。
- ・学業だけではなく、学生のうちに色々な職業(アルバイト)を体験したり、海外に行ってみたり、自分が楽しい！わくわくする！という物事を見つけてもらいたい。
- ・プレゼンテーションやレポートの書き方は就職してから必ず、役に立ちます。普段の勉強から少しずつがんばって下さい。
- ・色々なことにチャレンジしてほしい。
- ・友人と密な関係をとりつつ授業を受講すべし。
- ・インターンシップや海外留学アルバイトなど大学の外に出る経験を早い時期にすると良いと思う。将来を考える良い機会になる。
- ・学生の時に勉強・遊びを全力で楽しんでいた方が、就職には有利だと思います。
- ・英語で文章作成能力・会話能力を向上できる機会を大切にしてほしい
- ・授業への参加と遊びのメリハリを大切に！
- ・サークル活動で友人をつくったり、アルバイトで社会経験を得ることは大切だと思いますし、私の今の生活をよりよいものに行っています。また、デジタル社会、ネット社会などと言われていますが、今やどの職業もパソコンで情報の管理や計算等をしていると思います。そのため、

基本的なコンピュータの知識の習得をしておく、仕事の幅が広がると思います。私も今、wordやExcelなど毎日のように使っていますので…

- ・広島市内にもっと学生が出てきてほしいです。大学もそのような支援をしてほしいと思います(東広島内のみでは、閉鎖的な生活になってしまいがちなので)
- ・専門家と共に最先端の環境で「良く学び」、自由に時間を使って「良く遊ぶ」とを大切にすべきだと思う。
- ・理学部から情報系の企業へ就職を考えている人は、そういった分野のことを勉強しておいた方がよい(ネットワークの基礎、シリアル・パラレル通信…)

### 医学部

- ・友人との交流を深めることと、仕事が始まってからは中々できない時間のかかること(留学や読書や語学の習得など)を、休暇を利用して行うとよい。
- ・自分のいるコミュニティとは離れた場所に出かけること
- ・どの学部でも文章作成、プレゼン技術は学生の間にしっかり磨いておくべき。専門分野は卒業後にしっかり学び続け、一生のテーマにする方がよい！アルバイトはマナーや働くことへの意識をしっかり学べる職場を選んでほしい！お金を稼ぐだけが目的とならないように…
- ・卒業する時には、”自分は社会に貢献できる、そのための努力をした”と思えるように、自主的に勉学に励んでほしい。困った時は、大学に相談してほしい。
- ・専門分野以外のコミュニティを広げられなかった
- ・自分はこうなるからこれ以外はゆるく関わればいい、等、自分の枠を自分で決めてしまわないでほしい。大学時代ほど、自由に様々な人・場所・知識等々に関われる時間は他にはない。少

## 卒業生から後輩に伝えたいこと

し手を伸ばせば全てそこにある。学科内、コース内の人間関係にしばられず自由に食欲に吸収してほしい。

### 歯学部

- ・様々な経験が大事、交遊関係なども広く、
- ・人に迷惑をかけない程度にやりたいことをやる

### 薬学部

- ・興味のあることに対し、深く掘り下げることで、専門知識の習得、人脈の形成、自信へとつながるはず。興味の対象は何でもいいと思います。
- ・アルバイト等は生活維持のために仕方ないとは思いますが、それを理由に授業をサボったりするのはどうかと思う。親に学費を払ってもらっているのだからもう少し1つ1つの授業を大切にされた方がよいのでは？と思う人が幾人かいたので…。本人の事ではあるけれど気になってしまいました。
- ・英会話は必ず武器になるので、機会があれば積極的にチャレンジして欲しい
- ・アルバイトは経験した方がいいです。(特に人と接するもの)就職した際に役に立ちます。
- ・全てすすめる。特に1年生や2年生のような、比較的時間のあるときに多角的な物の見方ができるように勉強すべき(自分はしてなかったので後悔しています)もちろん、遊びも全力ですべし

### 工学部

- ・様々な人と接して、色々な考え方があるということを知ってほしい。  
とにかくなんでも学んで、経験してほしい。
- ・大学で学んだことがそのまま職に結びつくことはなかなかないと思いますが、研究室やゼミなど職場での環境が似ていることはあると思うので、そういったところで力を入れておくことが大切だと思います。
- ・社会でも通用するようなコミュニケーション能力を学生のうちに身につけておくことが重要だと思う。

- ・とにかく講義に出席し、まじめに授業を受けるのが一番大切だと感じる。
- ・会社では報告会等でプレゼンする機会が多いため、もっとプレゼン技術や文章の作成能力をきたえてほしい。
- ・どの学部の学生でもコンピュータの知識を身につけることをオススメします。  
使い方だけでなく内部構造、歴史などを学んでおくことが今のAI時代を生きる人間として必要です。
- ・説明力、文章力、人間関係、効率化の思考、パソコンは、仕事で必須です。
- ・簡単なエクセルパワポ
- ・大学で、学ぶことのできることはとても多いが、なかなか学ぶ意義を見つけることは難しいと思います。海外経験や東京などの都市部へのインターン、ベンチャーコミュニティへの参加などを通じてそれらを見つける機会を得られるといいと思います。
- ・項目9.10は企業では必須です。
- ・英語(特にスピーキング、リスニング能力)は社会に出てから必要だと感じています。ただそれを知っていても自分は何もできませんでした。
- ・時間はたくさんあるので、出来るだけ社会人になって経験しづらい、海外留学や専門外の講義等を行い、知見を広げるべきだと思います。
- ・自由に使える時間、社会に出ると確保とても難しいので、大学生のうちに海外旅行など今しかできないことをたくさん経験して頂きたい。
- ・将来自分が何をしたいか、どうありたいかをよく考え、単位の必要有無に依らず講義を受けるといい。  
英語の修得は今後必要不可欠。製図・研究でも英語は必要な時代。
- ・社会人になる時に困らないようなスキルを身につけると良い。  
できれば地元で就職した方が良い。
- ・授業に取り組む熱量と同じくらいの熱を授業外

## 卒業生から後輩に伝えたいこと

の活動にむけてほしい。大学生は人生の中で自由に使える時間が最も多い時期なので様々な経験をしておく方がよかったと今になって思う。理系の学生は、実験を通じて論理的な思考や文章の書き方、発表の方法をできるだけ訓練しておく必要がある。研究を仕事にした時に、これらの力の無さと未熟さを痛感しました…。

- ・サークルもアルバイトも人との接し方を学ぶことができる。
- ・アルバイト経験は社会ではあまり役に立たない
- ・上司に説明、客先にプレゼンすることが多いので、その技能を磨くことは必要だと思う
- ・会社でも海外に行くことがあり、学生時代に海外の生活を経験しておく、ひるまない、大学の時の友人は、社会人になってからも大事
- ・現職では英語を使うケースが多いので、学生時代に短期でも留学すべきだったと若干後悔している、迷っている人は行くべきかと思いません。  
その他に関してはどれも重要なのでどれか1番かとかはないです
- ・卒業として、民間又は官公庁に働く目標があるならば、実務的能力、文章作成能力、プレゼン能力、パソコンスキル等を身につけることをすすめる

### 生物生産学部

- ・社会に出ると、何がどう役に立つかは案外わからないものなので、何事も主体的に取り組んで下さい。
- ・社会人として必要なマナー、メールやあいさつ等をアルバイトやゼミなどの中で学んでおく、良いと思います。
- ・もっと時間を使って勉強してください！勉強はおもしろいです！（学ぶことに楽しさを感じて欲しいです。）
- ・英語と中国語を話せると、社会に出てからの武器になると思います。

政治、経済、歴史は上の世代の人と話すうえで知識として持っておくと、話がはずみます。文章、プレゼンテーション能力は、自分の評価に直結するので、必至です。

- ・学内、学外を問わず多くの人と交流し見聞を広めてもらいたい。また学外の活動にも積極的に参加し、多くの経験をつんでもらいたい。